

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 へき地診療所医師派遣強化事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,570 千円 (前年度予算額： 22,570 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入 収	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	22,570	11,285	0	0	0	0	0	0	11,285
要求額	22,570	11,285	0	0	0	0	0	0	11,285
決定額	22,570	11,285	0	0	0	0	0	0	11,285

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内の医師数は全国平均数を大きく下回っており、医師不足は深刻な状態となっている。

人口10万人当たり医療施設従事医師数(R2)	全国平均	256.6人
〃	岐阜県	224.5人(全国37位)

特に、へき地においては、その状況が深刻であり、十分な医療の提供を受けられない地域もある。こうしたへき地の唯一の医療機関であるへき地診療所へ県内の医療機関が医師を派遣することにより、医師の地域偏在を緩和し、地域医療を確保していく必要がある。

(2) 事業内容

県内の医療機関が、へき地医療を支えるため、自病院に勤務する医師等をへき地診療所に派遣し、診療支援を行う場合に必要となる人件費等に対し補助する。

- ・派遣元医療機関：県内医療機関
- ・派遣先医療機関：県内のへき地診療所(47か所)
- ・対象経費：医師派遣にかかる経費(人件費等)

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫補助金（医療施設運営費等補助金及び中毒情報基盤整備事業費補助金）の活用
※補助率 10 / 10（県 1 / 2 国 1 / 2）

(4) 類似事業の有無

- ・同様の国庫補助を活用したへき地診療所設備整備事業がある。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	22,570	へき地診療所に医師を派遣する県内医療機関に対する補助
合計	22,570	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）
第2章 医療提供体制の構築
第8節 へき地医療対策
- ・第11次岐阜県へき地保健医療計画

(2) 国・他県の状況

既存の「へき地医療拠点病院運営事業費」等により、へき地医療を支援する体制の整備及び地域医療の支援が行われている。

(3) 後年度の財政負担

へき地医療体制の安定的な運営の為、引き続き、支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内の医療機関に事業の周知・照会を行うことで、事業の活用を図る。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

へき地における唯一の医療機関であるへき地診療所においては、自ら医師の確保をすることが非常に困難な状況にあります。

県内の医療機関がへき地の医療を支えるために、医師確保が困難なへき地診療所医に対して医師を派遣することを支援することで、地域医療を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 人口10万人対医療施設従事医師数	173.0人	224.5 (R2)	235.9人	235.9人	235.9人	95%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>令和2年度は、3医療機関が当事業を活用してへき地診療所への医師派遣を行った。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>令和3年度は、3医療機関が当事業を活用してへき地診療所への医師派遣を行った。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>山間へき地においては、医療機関や従事する医療人材が十分でなく、地域医療体制を確保するため支援を行うことが必要である。特に、当県においては山間へき地が多くあり、へき地の拠点となる病院の支援を目的とした当事業は必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>へき地医療拠点病院は、へき地診療所への医師派遣や無医地区等の巡回診療など診療支援のほか、中重度患者の受入れ等の役割があり、十分な施設・設備の整備が求められるが、患者数の減少等によりその経営基盤は弱く、財政的な補助を行うことによりその運営を支援する当事業は有効である。</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>へき地医療機関間の代診等を調整するへき地医療支援機構が中心となつて、代診調整を行うことにより、必要なへき地診療所等へ効果的に医師を派遣できた。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 当県においては、医師の偏在等により、へき地の医療機関を支援すべきへき地医療拠点病院においても医師不足問題を抱えている。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか へき地医療体制の確保のため、継続すべき事業である</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	